

2012. 3. 29

---

プレスリリース

---

## 「内外の化繊工業の動向」

2011年 年間回顧

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。  
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その  
「概要」をお届けします。  
ご高覧下さるよう、よろしく願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

## 概 要

### (2011 年年間回顧)

2011 年のわが国の景気は、3月に発生した東日本大震災によるその後の電力不足、欧州経済危機にともなう超円高と、ふたつの歴史的な出来ことにより混迷を深めた一年であった。

化繊景況では、震災による自動車産業の停滞による同用途向けの投入減、復興需要に伴うユニフォーム向け、節電への対応による実用衣料、遮熱カーテン向け投入増。円高は衣料を中心に輸出環境の悪化。またタイの洪水被害では、現地工場生産停止に伴う国内生産へのシフトなどの要因が見られたが、トータルでは大きな影響はなかった。

#### 国 内

- 1) 繊維景況は、衣料用ではスポーツを中心とする高密度薄地織物は引き続き堅調に推移した。婦人をメインとする中高価格ゾーンの商品は、リーマンショックからの立ち直りから動きが見え始めたところに震災が発生、その後の自粛ムードにより需要は一気に萎んだ。一方で節電対応からクールビス、ウォームビス機能を備えた実用衣料が注目を浴びた。家庭・インテリア用は、夏場の節電対応から、汗拭き用のウェットティッシュ、またカーテンは、製品輸入が増える中、国産系使いの遮熱カーテン向け引き合いが堅調であった。カーペットは、一般向けでは主力のタイルをはじめピース・ラグがマンションの発売戸数、新設住宅着工件数の増加もあり堅調であった。車輻向けはライン、オプション及びカーシートはともに自動車産業が震災で停滞したことにより減少したが、自動車生産の回復とともに持ち直した。資材用は、新車向けが中心のシートベルト・エアバッグは前述の車輻用と同じ動きが見られたが、タイヤコードは補修用タイヤが堅調に推移したことにより堅調であった。また土木・建築関連は一部で復興需要と見られる需要は見られたが、本格的な復興需要は年明け以降と見られて、量的な拡大には繋がらなかった。
- 2) 生産指数は、繊維工業全体では前年比 0.7%増、前々年比 1.9%増。化繊は前年比 3.1%増、前々年比 23.1%増。紡績は前年比 2.0%増、前々年比 4.3%増と、いずれも前年比、前々年比ともに増加した。在庫指数（期末）は、繊維工業が前年比 0.1%増、化繊 0.1%減、紡績 2.2%増と、紡績を除き横ばいであった。（生産、在庫とも指数ベースの比較）
- 3) 繊維品輸出は、ドルベースで 101.9 億ドル・前年比 13.9%増、円ベースで 8,118 億円・3.7%増と 2 年続けて増加、ドルベースで 100 億ドル台に乗った。形態別（ドルベース）で

は、繊維原料・16.4%増、糸類・16.6%増、織物類・15.9%増、二次製品・10.3%増と全ての段階で2年続けて増加している。主要仕向地別では、主力の中国は39.1億ドル・14.7%増をはじめ、アセアン向けはタイ（19.7%増）・インドネシア（13.9%増）・マレーシア（22.1%増）、ベトナム（39.4%増）向けの増加により19.3億ドル・25.7%増。欧州（11.4億ドル・15.5%増）、香港（7.3億ドル・0.3%増）、米国（6.8億ドル・8.4%増）、韓国（4.6億ドル・12.0%増）、台湾（4.6億ドル・12.0%増）など増加した。

4) 繊維品輸入は、ドルベースでは426.9億ドル、前年比24.1%増、円ベースでも3兆3,951億円・13.1%増と2桁の増加となった。形態別（ドルベース）では、繊維原料・54.4%増、糸類・45.4%増、織物類・36.3%増、二次製品・22.3%増と円高の影響もあり大幅に増加した。主要仕出地別では、全体の74%を占める中国が314.8億ドル・20.0%増。アセアンではタイ（33.5%増）、インドネシア（66.6%増）、ベトナム（49.9%増）の増加により52.1億ドル・50.7%増。その他では、イタリア11.2億ドル・21.4%増、韓国7.6億ドル・17.5%増、米国6.0億ドル・20.9%増などが増加した。

#### 繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	09.1-12	10.1-12	11.1-12	09年比(%)	10年比(%)
輸出	千ドル	7,651,198	8,942,459	10,185,960	33.1	13.9
計	百万円	714,549	782,771	811,791	13.6	3.7
繊維原料	千ドル	1,134,397	1,444,243	1,681,111	48.2	16.4
糸類	〃	833,305	1,149,995	1,340,431	60.9	16.6
織物類	〃	2,708,439	2,878,073	3,336,352	23.2	15.9
二次製品他	〃	2,975,057	3,470,148	3,828,067	28.7	10.3
輸入	千ドル	32,380,093	34,394,587	42,687,990	31.8	24.1
計	百万円	3,022,726	3,002,146	3,395,069	12.3	13.1
繊維原料	千ドル	428,187	576,087	889,373	107.7	54.4
糸類	〃	817,797	1,129,746	1,642,585	100.9	45.4
織物類	〃	977,472	1,188,992	1,620,008	65.7	36.3
二次製品他	〃	30,156,637	31,499,762	38,536,023	27.8	22.3
(うち衣類)	〃	(25,244,021)	(26,688,301)	(32,669,307)	29.4	22.4
輸出レート	円/ドル	93.4	87.5	79.7	-14.7	-9.0
輸入レート	円/ドル	93.4	87.3	79.5	-14.8	-8.9

(出所) 財務省

5) 化繊生産は1,022,322トン・前年比3.1%増と、3年振りに100万トン台に回復した。うちセルロース繊維は167,901トン・0.4%減。合繊は854,421トン・3.9%増であった。期末在庫は97,440トン・6.5%増、うちセルロース繊維は3.5%減であったが、合繊は8.5%増加した。

化繊輸出（繊維原料～二次製品）は65.2万トン・3.6%増。段階別では、二次製品を

除き繊維原料、糸類、織物は前年比増加した。レーヨンSは中国が68%増と大きく増加したものの、米国向けが円高もあり60%減と大きく減少し、全体では15.7%減の11,064ト。ナイロンFはタイの増加により13.2%増の24,225ト、ポリエステルFも同じくタイの増加により3.8%増の27,967ト、ポリエステルSはインドネシアの減少により0.8%減の39,135ト、アクリルSは中国、アフリカ向け増により4.3%増の148,611トとなった。織物（面積ベース）はナイロン長、ポリエステル長・短ともに増加し、5.4%増の6.6億m<sup>2</sup>。二次製品も2.7%増の9.4万トであった。

化繊輸入（繊維原料～二次製品）は144.7万ト・14.9%増と2桁の増加となった。内訳は、繊維原料は6.2万ト・8.2%増、糸類は20.9万ト・11.3%増、織物類は6.9億m<sup>2</sup>・28.7%増、二次製品は106.7万ト・15.7%増、うち衣類57.9万ト・19.2%増といずれも大きく増加している。

### 化学繊維の主要指標

項 目	単 位	09.1-12	10.1-12	11.1-12	09年比(%)	10年比(%)
化繊生産	千ト	834.8	991.2	1,022.3	22.5	3.1
セルロース	〃	152.5	168.7	167.9	10.1	-0.4
合 織	〃	682.3	822.6	854.4	25.2	3.9
化繊在庫	〃	100.0	91.3	97.4	-2.5	6.7
セルロース	〃	17.0	15.1	14.6	-14.3	-3.5
合 織	〃	83.0	76.2	82.9	-0.1	8.7
化繊輸出	千ト	548.1	629.7	652.4	19.0	3.6
	100万ドル	4,693.9	5,536.8	6,366.0	35.6	15.0
	億円	4,385.5	4,847.0	5,072.8	15.7	4.7
繊維原料	千ト	278.4	320.0	325.3	16.9	1.7
糸 類	〃	85.6	111.6	120.3	40.5	7.8
織物類	百万m <sup>2</sup>	620.1	628.0	661.7	6.7	5.4
二次製品	千ト	85.3	91.9	86.5	1.5	-5.9
化繊輸入	千ト	1,112.7	1,259.0	1,446.7	30.0	14.9
	100万ドル	13,014.6	14,873.2	19,620.7	50.8	31.9
	億円	12,104.8	12,886.4	15,549.3	28.5	20.7
繊維原料	千ト	45.9	57.0	61.7	34.5	8.2
糸 類	〃	136.6	187.3	208.5	52.7	11.3
織物類	百万m <sup>2</sup>	445.3	532.2	685.0	53.8	28.7
二次製品他	千ト	852.4	922.8	1,067.3	25.2	15.7
(うち衣類)	〃	(468.4)	(486.0)	(579.2)	23.7	19.2

(出所) 経済産業省、財務省

(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

#### 6) 主要合織品種の動向は次の通り。

ポリエステルF ; 生産は18,761ト・前年比4.1%減、年末在庫は17,142ト・前年末比4.7%増。織物生産は41,338万m<sup>2</sup>・12.4%増と4年振りに前年を上回った。衣料用は、主力の婦人は引き続き低迷。また紳士も節電ムードから厳しいなど、裏地使い衣料の

減少もあり、裏地向けも不振。ダウンジャケット・アウトドア向け高密度織物は、今シーズン物は順調であったが、来シーズンに向けては円高による輸出向け採算の悪化もありこれまでの勢いが見られない。水着は競泳・遊泳用ともに震災による自粛ムードにより低調。学販用は堅調に推移。産業資材用は、自動車関連用途が東日本大震災やタイの洪水による自動車生産減の影響を受けた。タイヤコードはリプレイス需要に支えられて小幅減に止まったが、織物輸入の急増が懸念される。カーシート・シートベルトは、新車需要のため自動車生産減の影響を直接受けた。漁網向けは震災による網流出による引き合いがあった。カーテンは、節電対策による遮熱カーテンで盛り上がりが見られた。フィラメント輸出は27,967トンを前年比3.8%増。タイ5,652トン(19.7%増)、中国5,015トン(3.9%増)、米国3,320トン(20.2%増)。同輸入は117,709トン・11.8%増と過去最高となった。台湾55,689トン(17.8%増)、タイ16,774トン(17.3%増)、インドネシア15,311トン(13.9%増)の順。織物輸出は2億7,445万㎡・0.9%増。同輸入は21,873万㎡・49.3%増。

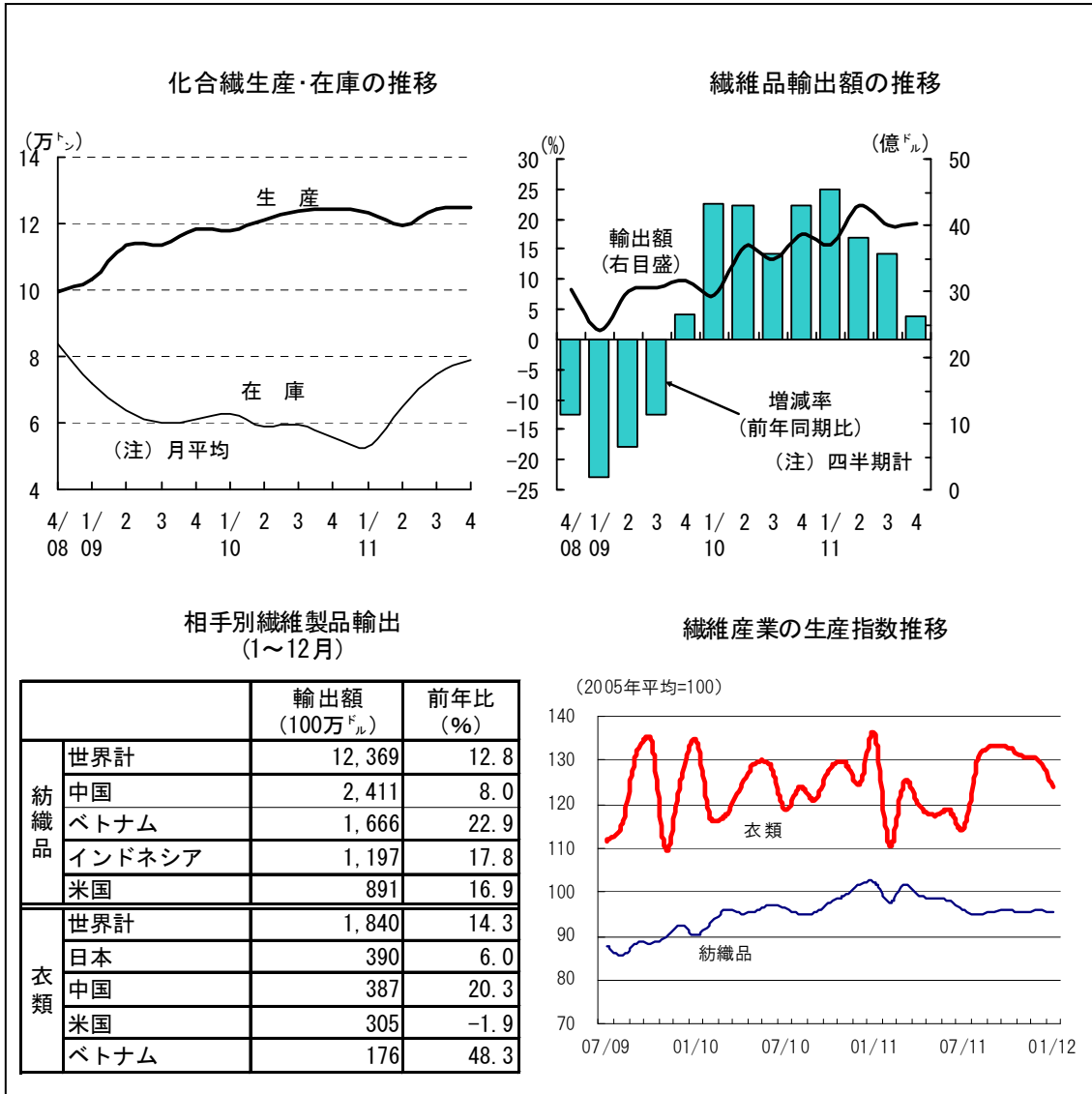
ポリエステルS：生産は157,084トン・前年比0.8%減。年末在庫は23,253トン・前年比12.0%増。紡績用途は円高による輸入糸へのシフトが続くものの綿花高騰や震災関連需要などでユニフォーム分野を中心に回復が見られた。純糸は、円高により中東向けトープ織物(民族衣装)が輸入生機への切り替えが進み苦戦したが復興需要による帆布・テント向けが増加により回復。綿混・レーヨン混は、震災によるワーキングなどユニフォーム需要の増加により堅調に推移。毛混もスクール向けが堅調であった。不織布用途も震災の影響で車輛資材向けが一時的に激減した自動車生産の回復に伴い復活、ウェットティッシュや衛材向けも被災地救援、夏場の節電対応から盛り上がりが見られた。また湿式不織布も好調に推移した。製綿用途は寝装の安価な製品輸入や海外素材へのシフトが一段と進んだ。原綿輸出は、39,133トン・0.8%減。タイ10,887トン・3.5%増、欧州8,842トン・同2.0%増、中国7,012トン・10.3%増、インドネシア5,284トン・17.3%減、米国4,721トン・同2.6%増。同輸入は、31,283トン・10.3%増と増勢傾向に歯止めが掛かっている。中国10,246トン・2.2%減、韓国7,957トン・2.2%減、台湾2,275トン・2.9%減は減少しているが、タイ6,633トン・48.5%増、インドネシア2,473トン・50.6%増、マレーシア1,538トン・27.4%増が増えている。

ナイロンF；生産は95,027トン・前年比2.2%増。年末在庫は9,004トン・前年比10.3%減。織物生産は13,585万㎡・16.2%増と2年連続前年を上回った。衣料用途は、レック関連は「レギンス」や「トレンカ」需要が一巡、プレーンパンストの復活が見られた。アウター用は、婦人ボトム向けのハイテンションニットが国内は苦戦したが中国向け輸出が堅調。ダウン・スポーツ向け高密度織物は引き続き堅調に推移したが、先行きについてはこれまでの勢いが見られない。インナー堅調。非衣料用は、タイヤコードはキャッププライ向けに加え、海外向けジャイアントタイヤ用が好調により総じ

て堅調。エアバッグは震災による自動車生産の減少により一時的に落ち込んだが生産回復に伴って復活。カーペットは主力のタイルカーペットおよびロールカーペットは震災による工事の遅れなどにより低調。自動車用は震災により苦戦した。ホーサーは、新造船の受注残に支えられ順調に推移した。フィラメント輸出は24,227トﾝ・13.2%増、タイ7,930トﾝ(18.6%増)、フィリピン5,348トﾝ(3.8%増)、中国3,394トﾝ(13.8%減)、ベトナム1,740トﾝ(30.7%増)。輸入は27,528トﾝ・3.9%増。台湾6,286トﾝ(7.9%増)、中国4,322トﾝ(8.9%増)、カナダ4,104トﾝ(20.8%増)、米国3,762トﾝ(44.8%増)。織物輸出は1億2,111万㎡・17.8%増。

アクリルS;生産は151,558トﾝ・前年比7.1%増。年末在庫は10,571トﾝ・前年末比12.6%増。紡績糸生産は10,643トﾝ・1.9%減。衣料用途は、マイクロファイバー使いの保温肌着向けが引き続き堅調に推移。国内だけでなく海外でも消費者から高機能製品が受け入れられ、販売量を増やした。セーターは近年の重ね着トレンドにより盛り上がり欠いた。靴下は震災により実用衣料が注目さ復活。レッグウォーマーやアームウォーマーも堅調に推移した。建寝装用途は、毛布は震災により流通在庫が一掃されたが、備蓄用の主流はポリエステル中国品と見られ投入増に繋がらなかった。カーペット・カーテンもポリエステルへの素材代替が進み引き続き低迷。ステーブル輸出は、最大仕向地の中国が80,437万トﾝ・10.5%増。世界的なファーブームが到来するなか、日本メーカーが得意とするフェイクファー用原綿の引き合いが活発であった。最近では、欧米向け再輸出から中国内販売用が増えている。インドネシアは1万4,681トﾝ・3.5%増。日本-アセアンEPAおよび中国-アセアンFTAにより紡績糸の供給基地としての活用されている。イランは低採算のカーペット用レギュラーわたが主流の上、経済制裁も加わり458トﾝ・92.6%減と大きく落ち込んだ。インドは3,056トﾝ・12.7%減、手芸糸用に安定した需要がある。紡績糸輸入は7,630トﾝ・16.9%増と前年を上回った。中国が2,537トﾝ・7.0%増、インドネシアは3,605トﾝ・9.4%増と、両国で全体の80.5%を占めている。

7) 韓国



・概況

2011年の韓国の繊維景況は、年前半は好調な輸出から繊維生産は堅調に推移したものの、年後半から世界的な景気不安により不透明な状況となった。

・合繊生産

合繊生産は前年比0.8%増の147.5万ト、微増ではあるが、3年連続で前年実績を上回った。主要合繊の生産をみると、ナイロンFは前年比横ばいの13.5万ト、ポリエステルFは1.8%増の76.1万ト、ポリエステルSは横ばいの53.2万ト、アクリルSは3.0%減の4.7万トとなった。年末在庫は前年比33.1%増の7.4万トと大幅に増加した。

### 主要合織の生産高

(1000 トン、%)

	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
ナイロン F	145	131	132	135	135	0.0
ポリエステル F		680	671	747	761	1.8
ポリエステル S	536	477	501	532	532	0.0
アクリル S	51	43	41	49	47	-3.0
合織合計	1,441	1,330	1,346	1,463	1,475	0.8

#### ・合織生産能力

合織の年末設備能力は日産 4,671 トンとなり、前年比 35 トンの増加となった。ナイロン F およびポリエステル F でそれぞれ 10 トン、25 トン増加した。

稼働率は合織平均で 86.5%となり、前年とほぼ同水準であった。品種別にみると、ポリエステルは F で 92.1%、S で 86.2%と高い水準となった。

### 主要合織の生産能力（年末値）

(日産トン)

	2007	2008	2009	2010	2011	増減
ナイロン F	608	600	591	536	546	10
ポリエステル F	3,135	2,446	2,262	2,250	2,275	25
ポリエステル S	1,690	1,690	1,690	1,690	1,690	0
アクリル S	160	160	160	160	160	0
合織合計	5,593	4,896	4,703	4,636	4,671	35

### 主要合織の稼働率

(%)

	ナイロン F	ポリエステル F	ポリエステル S	アクリル S	合織計
2010.1～12	69.1	91.0	86.2	83.1	86.4
2011.1～12	67.8	92.1	86.2	80.6	86.5

#### ・輸 出

繊維品輸出は前年比 14.7%増の 159.6 億ドル、2 年連続で前年実績を上回った。段階別にみると、繊維原料は、綿花価格の高騰もあり 29.9%増の 17.7 億ドル、糸類は 13.4%増の 17.9 億ドル、織物類は 17.6%増の 37.8 億ドル、衣類等二次製品は 10.8%増の 84.0 億ドルといずれの段階も 2 桁増となった。

仕向地別にみると、紡織品は、ベトナム、インドネシア等アセアン向けが高い伸び、衣類は中国、ベトナム向けが高い伸びとなった。また、2011 年 7 月に EU と、2012 年 3 月に米国との FTA が発効している。



### 繊維品輸出実績

(100万<sup>ドル</sup>、%)

	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
繊維原料	1,248	1,269	1,049	1,362	1,770	29.9
糸類	1,448	1,343	1,168	1,574	1,786	13.4
織物類	3,185	3,210	2,692	3,215	3,779	17.6
衣類等	7,363	7,290	6,503	7,583	8,404	10.8
繊維品合計	13,470	13,335	11,579	13,912	15,961	14.7

#### ・輸 入

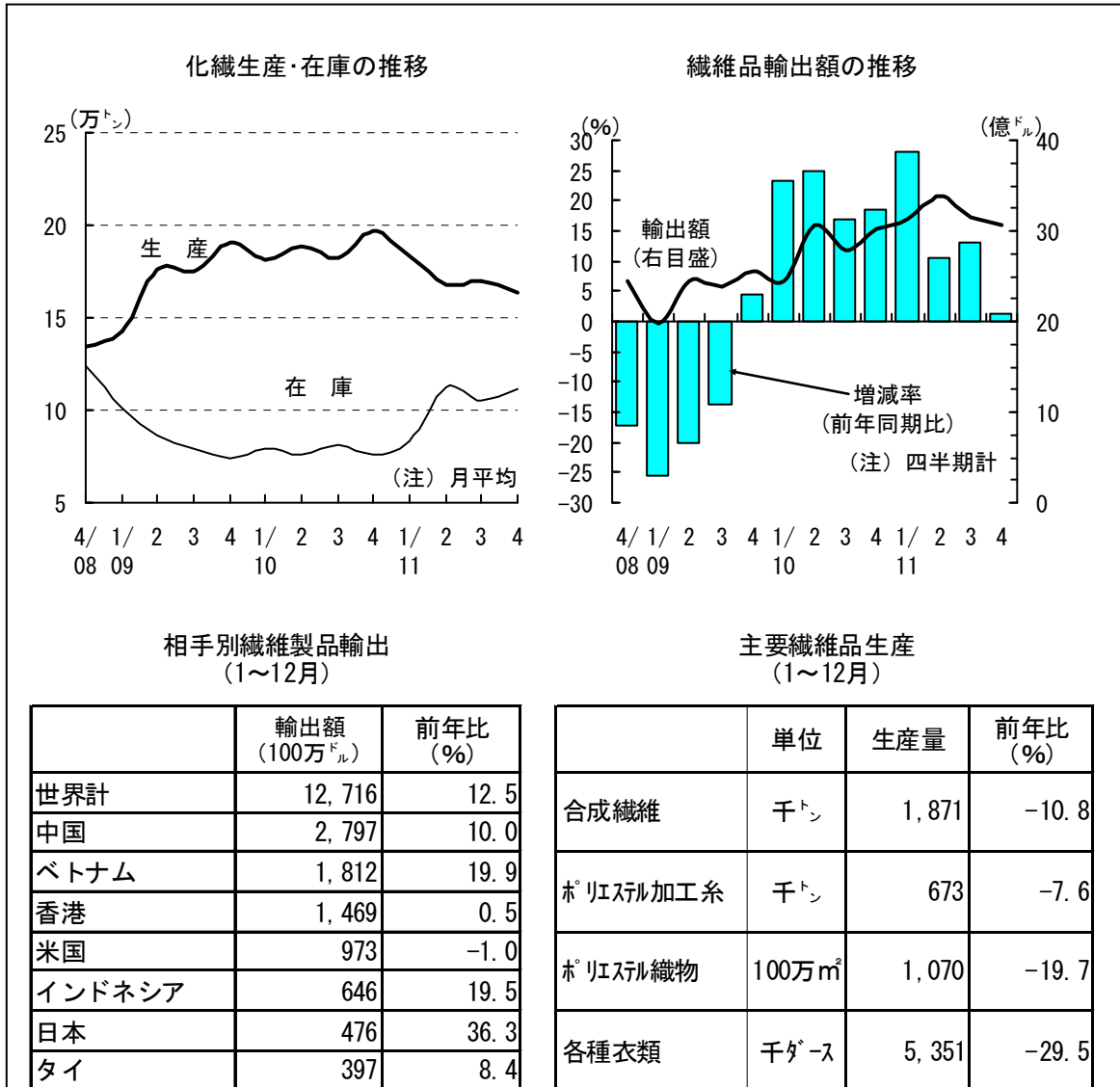
繊維品輸入は前年比 30.2%増の 132.3 億<sup>ドル</sup>の大幅増。綿花価格や原料価格の高騰の影響から高い伸びとなった。段階別にみると、繊維原料は 62.8%増の 15.4 億<sup>ドル</sup>、糸類は 14.7%増の 25.6 億<sup>ドル</sup>、織物類は 18.7%増の 13.8 億<sup>ドル</sup>、衣類等二次製品は 34.5%増の 72.0 億<sup>ドル</sup>となった。仕出地別では、第 1 位の中国からの輸入は 21.2%増の 64.8 億<sup>ドル</sup>となったが、そのシェアは 49%と前年より 4%ポイント下落し、5割を割り込んだ。第 2 位のベトナムからの輸入は 70.8%増の 14.1 億<sup>ドル</sup>。第 3 位の米国は綿花価格の高騰もあり 59.4%増の 6.2 億<sup>ドル</sup>となった。

### 繊維品輸入実績

(100万<sup>ドル</sup>、%)

	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
繊維原料	756	808	720	948	1,542	62.8
糸類	1,716	1,697	1,502	2,228	2,555	14.7
織物類	1,209	1,118	889	1,165	1,382	18.7
衣類等	5,141	5,115	4,166	5,355	7,201	34.5
繊維品合計	9,174	9,085	7,591	10,155	13,226	30.2

## 8) 台湾



### ・概況

2011年の台湾の繊維景況をみると、年後半にかけ、欧州債務危機の影響、主力市場の中国のマクロ引締策、主要繊維価格の下落などから減速が顕著となった。繊維生産は各段階とも2年ぶりの減産となったが、川下へ行くほど減産幅が拡大した。

### ・化繊生産

化合繊生産は前年比12.3%減の197.2万トンと3年ぶり前年実績を下回った。主要品種別にみると、ナイロンFは13.7%減の30.9万トン、ポリエステルFは7.1%減の103.2万トン、ポリエステルSは7.3%減の53.6万トン、アクリルSは8.0%減の9.4万トンとなった。

### 主要化合繊の生産高

(1000トン、%)

	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
ナイロンF	384	302	287	358	309	-13.7
ポリエステルF	1,223	1,012	1,010	1,111	1,032	-7.1
ポリエステルS	550	476	540	578	536	-7.3
アクリルS	137	84	111	102	94	-8.0
化合繊合計	2,432	1,979	2,055	2,248	1,972	-12.3

#### ・設 備

2011 年末の主要化合繊の設備は前年末の水準と変更はなかった。生産が減少したため、稼働率はいずれも悪化した。化合繊合計の稼働率は前年より 8.6 ポイント下落し 61.2%となった。

### 主要化合繊の生産能力（年末値）

(日産トン)

	2007	2008	2009	2010	2011	増減
ナイロンF	1,311	1,745	1,745	1,745	1,745	0
ポリエステルF	4,871	4,360	4,360	4,360	4,360	0
ポリエステルS	2,483	1,888	1,888	1,888	1,888	0
アクリルS	434	360	360	360	360	0
化合繊合計	9,549	8,826	8,826	8,826	8,826	0

### 主要化合繊の稼働率

(%)

	ナイロンF	ポリエステルF	ポリエステルS	アクリルS	化合繊合計
2010.1~12	56.2	69.8	83.9	77.8	69.8
2011.1~12	48.5	64.8	77.8	71.6	61.2

#### ・輸 出

繊維品輸出は前年比 12.5%増の 127.2 億ドルと 2 年連続で前年実績を上回った。為替の影響もあり、過去 10 年で最高水準の輸出となった。段階別にみると、繊維原料は 13.6%増の 13.3 億ドル、糸類は 12.8%増の 25.3 億ドル、織物類は 13.6%増の 76.4 億ドル、衣類等二次製品は 4.5%増の 12.2 億ドルとなった。なお、化合繊輸出(数量ベース)は前年比 9.4%減の 114.3 万トンと減少した。

繊維品輸出を主要仕向地別に見ると、第 1 位の中国は 10.0%増の 28.0 億ドルと堅調に推

移、第2位のベトナムは19.9%増の18.1億ドル、第3位の香港向けは0.5%増の14.7億ドル、第4位の米国は1.0%減の9.7億ドルと不振であった。なお、主力の中国市場向け輸出は、2011年1月に開始したECFA（两岸経済協力協定）のアーリーハーベスト（早期完全減免）品目（136品目）については、15.6%増と全体を上回る伸びであった。

#### 繊維品輸出実績

(100万ドル、%)

	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
繊維原料	1,181	968	952	1,170	1,330	13.6
糸類	2,261	1,970	1,793	2,246	2,533	12.8
織物類	6,757	6,625	5,536	6,722	7,638	13.6
衣類等	1,397	1,340	1,064	1,163	1,215	4.5
繊維品計	11,596	10,903	9,345	11,301	12,716	12.5

#### ・輸 入

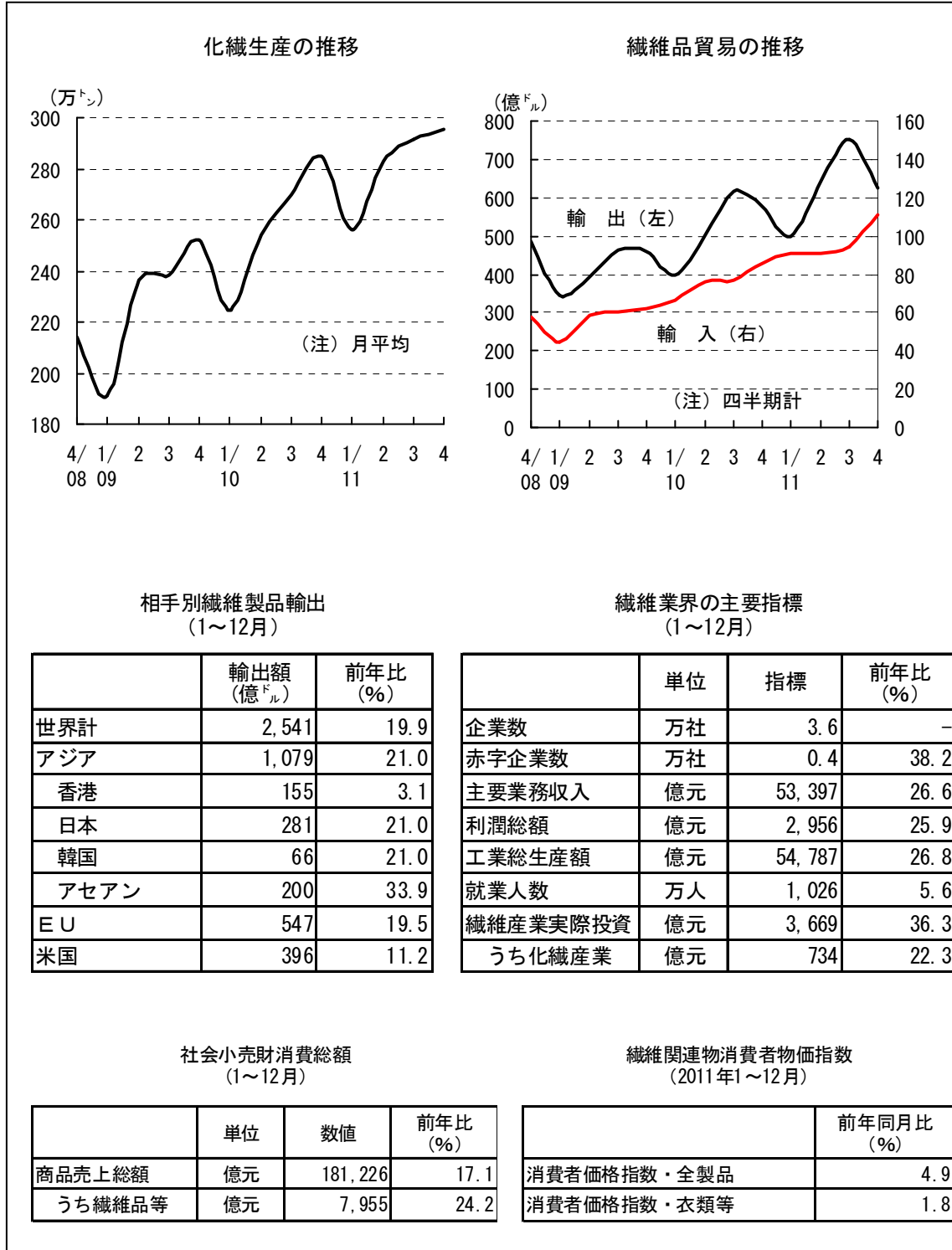
繊維品輸入は前年比22.9%増の35.7億ドルとなった。段階別にみると、繊維原料は34.1%増の8.4億ドル、糸類は10.3%増の5.1億ドル、織物類は13.7%増の5.4億ドル、衣類は25.3%増の16.8億ドルとなった。

#### 繊維品輸入実績

(100万ドル、%)

	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
繊維原料	543	531	416	626	839	34.1
糸類	420	397	277	458	506	10.3
織物類	448	484	375	476	542	13.7
衣類等	1,242	1,289	1,121	1,343	1,682	25.3
繊維品計	2,653	2,702	2,190	2,904	3,569	22.9

9) 中国



・概況

2011年は、繊維生産、繊維輸出とも引続き拡大傾向となり全般的に拡大基調に変わりはないが、年後半、原料価格の乱高下、外需の弱まりなどに加え、人件費上昇など懸念材料は多く、先行きが不透明な状況となった。2011年の主要繊維企業の主要業務収入は前年比26.6%増、利潤総額は25.9%増と大幅増を維持した。また、繊維産業への投資額は36.3%増と活発であった。内需は引続き好調に推移、社会小売総額のうちの繊維品の伸びは24.2%の大幅増となった。

・生産動向

繊維生産は好調な内需を背景に増加した。化合繊は前年比13.9%増の3,362万トシとなった。世界の化合繊生産に占める中国のシェアは前年より2ポイント上昇、66%に達した。紡績糸は14.2%増の3,115万トシ、短繊維織物は11.6%増の620億m、衣類は8.1%増の254億点となった。

主要繊維品の生産動向

	2007	2008	2009	2010	2011	前年比(%)
化合繊 (1000トシ)	23,506	23,848	26,739	29,528	33,624	13.9
合繊 (1000トシ)	22,018	21,752	24,569	27,273	31,146	14.2
紡績糸 (1000トシ)	19,956	21,343	23,895	25,752	28,945	12.4
短繊維織物 (億m)	486	539	549	555	620	11.6
化繊織物 (億m)	132	144	148	131	150	14.8
衣類 (億点)	202	222	240	235	254	8.1

化合繊生産を品種別にみると、レーヨンは9.5%増の248万トシ、主力のポリエステルは15.2%増の2,795万トシ、ナイロンは9.6%増の159万トシ、アクリルは4.2%増の70万トシとなった。一方、ポリウレタンは2.0%減の26万トシとなった。

化学繊維の品種別生産動向

(1000トシ、%)

	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
レーヨン	1,543	1,323	1,696	2,263	2,478	9.5
ナイロン	966	1,120	1,441	1,452	1,591	9.6
ポリエステル	19,251	19,249	21,542	24,257	27,949	15.2
アクリル	801	554	692	671	700	4.2
ポリプロピレン	297	260	280	297	333	12.1
ポリウレタン	198	168	223	267	262	-2.0
化合繊合計	23,506	23,848	26,739	29,528	33,624	13.9

・輸 出

繊維品輸出は前年比 20.5%増の 2,520 億ドルと 2 年連続の増加となった。段階別にみると繊維原料は、価格上昇もあり 59.4%増の 37.8 億ドル、紡織品は 22.8%増の 944.2 億ドル、衣類等二次製品は 18.5%増の 1,573.8 億ドルとなった。仕向地別では、EU、米国向けが前年に比べやや鈍化したものの、FTA の効果もあり、アセアン向けが 33.9%増と引続き大幅増となった。

繊維品輸出実績

(100 万ドル、%)

	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
繊維原料	2,040	2,037	1,544	2,369	3,775	59.4
紡織品	55,975	65,240	59,824	76,889	94,420	22.8
衣類	115,252	119,968	107,264	129,773	153,781	18.5
繊維品計	173,268	187,244	168,681	209,124	251,976	20.5

・輸 入

繊維品輸入は前年比 26.7%増の 387.1 億ドルとなった。段階別にみると繊維原料は 52.3%増の 157.9 億ドル、紡織品は 6.9%増の 189.0 億ドル、衣類等二次製品は 59.4%増の 40.1 億ドルとなった。綿花輸入は 16.6%増の 343 万トン（金額ベース；66.9%増）となった。合繊輸入は軒並み前年実績割れとなり、合繊原料輸入は、EG は 9.5%増、PTA は 1.7%減、CPL は 0.2%増となった。

繊維品輸入実績

(100 万ドル、%)

	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
繊維原料	7,455	7,095	5,590	10,370	15,793	52.3
紡織品	16,646	16,228	14,945	17,681	18,901	6.9
衣類	1,976	2,279	1,842	2,518	4,013	59.4
繊維品計	26,077	25,603	22,384	30,549	38,707	26.7

主要化合繊ファイバー・合繊原料の輸入実績

	日本	韓国	台湾	その他	合計
ナイロン F	5	23	98	53	179
ポリエステル F	7	26	83	46	162
ポリエステル S	8	54	26	32	120
アクリル S	80	23	33	59	195

(1000 トン、%)

	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
ナイロン F	223	196	197	198	179	-9.9
ポリエステル F	253	181	174	173	162	-6.2
ポリエステル S	201	145	151	143	120	-16.0
アクリル S	281	146	180	196	195	-0.6
EG	4,800	5,216	5,828	6,640	7,269	9.5
PTA	6,988	5,942	6,257	6,642	6,526	-1.7
CPL	472	450	601	631	633	0.2



## 10) 米 国

### ・概 況

2011年の米国の繊維景況は、2010年の回復基調が鈍化し、不透明感を増すものとなった。合繊生産は全般的に振るわず前年比3.8%減の264.8万ト。繊維産業の生産指数は、紡織工業は前年比9.1%の上昇となったものの、紡織製品はカーペットの不振続行で2.9%低下。衣料小売の回復にともない、繊維製品輸入は12.4%増の1,013億ドルと史上最高を記録したものの、年後半にかけ増勢は鈍化した。バングラデシュ、ベトナム、インドネシア等の低コスト国からの輸入が増加し、中国の輸入全体に占める割合は2010年の41.2%から2011年は40.1%に低下した。

### ・合繊生産

合繊生産は前年比3.8%減の264.8万ト。主要品種別では、ナイロンFは、産資用は国内自動車生産台数が11.5%増の865万台と回復したことにより12.1%増の7.2万トと好調であったが、主力のカーペット用は住宅市場の低調が続き4.3%減の45.9万ト。紡織用も依然不振で、全体では2.8%減の55.9万ト。カーペット用が9割超を占めるナイロンSは、品種代替が進み18.4%減の3.3万トに縮小。ポリエステルFは、産資用、紡織用は減少したものの、主力となったカーペット用が14.5%増の22.9万トと好調を続け、全体では1.3%増の51.0万ト。ポリエステルSは2.5%減の58.0万ト。紡績向け(1.3%増)、不織布向け(6.3%増)の国内出荷は増加したが、詰め綿向け(2.0%減)、カーペット向け(24.0%減)が減少した。オレフィンFは7.0%減の78.4万ト。国内向出荷は、モノフィラメント・スパンボンド・フィルムファイバーが1.6%減、マルチフィラメントは20.2%減であった。オレフィンSは6.9%減の18.2万トと減少が続いている。

主要合繊の生産高 (1000ト、%)

品 種	2010	2011	増減
ナイロンF	575.4	559.3	-2.8
産資用	64.4	72.2	12.1
カーペット用	479.6	459.0	-4.3
紡織用	31.4	28.1	-10.5
ナイロンS	40.7	33.2	-18.4
ポリエステルF	503.6	510.3	1.3
産資用	128.5	114.0	-11.2
カーペット用	199.7	228.7	14.5
紡織用	175.4	167.6	-4.5
ポリエステルS	594.1	579.5	-2.5
オレフィンF	842.4	783.6	-7.0
オレフィンS	195.5	182.1	-6.9
合繊計	2,751.6	2,648.0	-3.8

(出所) FEB

・ 紡織生産

紡織工業の生産は、リーマンショックによる落ち込みから回復を続け、生産指数は前年指数 9.1%の上昇となった。生地、染色加工がともに前年比 2 桁の上昇と好調である。一方、紡織製品は、住宅市場の回復の遅れから、主力のカーペットが低迷を続け、インテリア用途以外にも振るわなかったため、生産指数は 2.9%の下落となった。衣料は、輸入の増加はあったものの、国内衣料小売の好調もあり、前年比横ばいを維持した。

紡織・衣料工業の生産指数推移

(2007=100、%)

業種	2007	2008	2009	2010	2011	前年比
鉱工業	100.0	96.3	85.5	90.1	93.8	4.2
紡織工業	100.0	85.0	70.1	78.3	85.4	9.1
糸・縫糸	100.0	85.4	64.6	67.8	...	...
生地	100.0	88.2	75.5	86.6	98.2	13.4
染色加工	100.0	77.7	62.8	68.7	76.1	10.7
紡織製品	100.0	91.0	69.2	70.6	68.6	-2.9
紡織インテリア製品	100.0	86.0	62.3	59.8	57.8	-3.4
カーペット等	100.0	87.1	60.7	60.0	57.0	-5.0
その他紡織製品	100.0	98.8	80.3	88.6	86.6	-2.3
衣料工業	100.0	78.0	59.8	57.8	57.8	0.0

(出所) 米連邦準備制度理事会

・ 輸 入

2011 年の繊維製品輸入は、年後半は増勢鈍化となったものの、年間では前年比 12.4%増の 1,013 億ドルと史上最高を記録した。仕出地別にみると、中国が 9.2%増と全体を下回る伸びとなり、近年でははじめてシェアを低下させた(2010 年 41.2%→2011 年 40.1%)。一方、ベトナム、インド、インドネシアといった低コスト国から輸入は 2 桁増となっている。メキシコからの輸入は 28.2%増で 2 年連続の増加となった。衣料輸入は 13.1%増の 777 億ドル。ベトナム、インドネシア、バングラデシュが 2 桁増となる一方、中国は 8.7%増にとどまり、中国の衣料輸入全体に占める割合は 2010 年の 39.0%から 2011 年は 37.8%に低下した。

繊維製品輸入実績

(100万ドル、%)

繊維製品				うち衣料			
仕出国	2010	2011	前年 比	仕出国	2010	2011	前年 比
中 国	38,470	40,658	9.2	中 国	27,975	29,392	8.7
ベトナム	6,289	7,196	18.6	ベトナム	5,877	6,644	17.1
インド	5,375	5,935	12.1	インドネシア	4,424	5,052	17.8
インドネシア	4,654	5,319	18.0	バングラデシュ	3,930	4,510	28.5
メキシコ	4,448	4,762	28.2	メキシコ	3,541	3,804	7.4
世 界	93,279	101,324	12.4	世 界	71,398	77,659	13.1

(出所) 米商務省

## 1 1) 欧 州

### ・概 況

2011 年の欧州の繊維景況は総じて不振であった。合繊生産は一部を除き前年比減。域内紡織工業の生産活動も低調。一方、バングラデシュ、ベトナム、パキスタン等からの輸入が増加し、EU27 の繊維製品輸入（域外輸入）は前年比 15.2%増の 1,361 億ドルと過去最高を記録した。

### ・合繊生産

合繊生産は、産資用ナイロンFは前年比 0.4%減の 11.8 万トンとほぼ横ばい。ポリエステルFは、紡織用は 1.9%減の 27.3 万トン、一方産資用は回復を続け 4.1%増の 15.1 万トン。ポリエステルSは 1.8%減の 64.1 万トン。アクリルSは 56.3 万トンで前年横ばいであった。

#### 主要合繊の生産高

品 種	(1000 トン、%)				
	2008	2009	2010	2011	前年比
産資用ナイロンF	118.4	92.1	118.5	118.0	-0.4
紡織用ポリエステルF	300.5	231.8	279.0	273.7	-1.9
産資用ポリエステルF*	179.9	97.3	144.6	150.5	4.1
ポリエステルS*	582.5	503.8	653.3	641.4	-1.8
アクリルS	571.4	566.5	564.8	563.1	-0.3

(出所) CIRFS (注) \*2010 年よりベラルーシを含む

### ・紡織・衣料生産

EU27 の紡織工業の生産活動は再び低調となり、2011 年の生産指数は前年比 2.7%の低下となった。主要国ではテクニカルテキスタイルが中心のドイツは上昇となったものの、フランス、イタリア、英国は 5~6%の低下であった。衣料工業は、域内市場の不調を反映して、EU27 の生産指数は 5.2%の低下。フランス、イタリアの他、スペイン、ポルトガル、ギリシャ、ハンガリー、ルーマニアなどで生産活動が低下した。

#### 紡織・衣料工業の生産指数の推移

国・地域	(2005=100、%)							
	紡織工業				衣料工業			
	2009	2010	2011	前年比	2009	2010	2011	前年比
EU27	72.9	79.0	76.8	-2.7	89.7	90.3	85.6	-5.2
ドイツ	77.2	86.1	87.7	1.8	59.3	59.1	59.6	0.8
フランス	60.9	64.1	60.4	-5.9	43.8	38.4	35.4	-7.9
イタリア	66.9	74.7	70.8	-5.2	126.3	131.6	119.9	-8.9
英国	88.4	91.9	86.5	-5.9	88.9	91.9	97.5	6.1

(出所) Eurostat

・輸 入

2010年のEU27の繊維製品輸入（域外輸入）は前年比15.2%増の1,361億ドルであった。仕出地別にみると、原産地規則の緩和もあり、バングラデシュからが前年比35%増と大きく伸び110億ドルと、インドを抜いて、中国、トルコに次ぐ、第3の輸入国に台頭した。そのほかベトナムが26.8%増、パキスタンが26.8%増と低コスト国からの輸入増が目立っている。一方、中国は11.1%増と世界平均の15.2%増を下回り、同国の域外輸入全体に占める割合は2010年の41.6%から40.1%に低下している。近隣国ではトルコが13.2%増と健闘しているものの世界平均を下回り、アジア勢との競合激化もあり、チュニジア、モロッコは1桁増にとどまった。この結果、近隣3国の域外輸入全体に占める割合は2009年の18.8%から2011年には17.9%に縮小している。

EU27の繊維製品輸入（域外輸入）

(100万ドル、%)

仕出国・地域	2005	2009	2010	2011	前年比
トルコ	14,580	14,126	15,197	17,209	13.2
チュニジア	3,368	3,510	3,500	3,802	8.6
モロッコ	2,984	2,961	3,002	3,286	9.5
中国	28,361	45,064	49,173	54,631	11.1
韓台香	4,593	2,325	2,619	2,946	12.5
アセアン	6,832	7,882	8,549	10,277	20.2
タイ	1,546	1,609	1,744	1,789	2.6
インドネシア	2,034	2,048	2,111	2,495	18.2
ベトナム	1,003	1,931	2,132	2,741	28.6
インド	7,000	8,932	9,315	10,945	17.5
パキスタン	2,827	3,510	3,856	4,888	26.8
バングラデシュ	4,620	7,492	8,156	11,045	35.4
世 界	90,068	109,776	118,127	136,071	15.2

(出所) Eurostat

JCFA

## 合繊4品種需要実績

### I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2011年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	20,416	98.7	91.9
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	50,306	99.6	99.6
	計	70,722 (29,750)	99.4 (101.8)	97.2 (105.2)
輸出 (原糸、加工糸)		4,412	101.8	121.3
需要計		75,134	99.5	98.4
在庫		17,142	110.7	104.7

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### II. ポリエステルステープル需要実績

(単位:トン、%)

		2011年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む。)	5,686	90.2	102.9
	非紡績用 (加工品輸出用含む。)	32,540	98.3	95.7
	計	38,226 (8,106)	101.4 (95.5)	100.5 (93.9)
輸出 (ステープル・トウ・トップ)		5,247	75.4	68.3
需要計		43,472	97.3	95.1
在庫		23,253	93.0	112.0

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2011年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	9,611	95.9	88.1
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	16,419	96.5	100.4
	計	26,030 (6,008)	96.2 (85.0)	95.4 (92.1)
輸出 (原糸、加工糸)		5,326	116.7	172.6
需要計		31,356	99.2	103.3
在庫		9,004	81.0	89.7

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### IV. アクリルステープル需要実績

(単位:トン、%)

		2011年10～12月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	5,616	85.5	146.1
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	2,412	94.1	108.6
	計	8,028 (358)	87.9 (106.5)	132.4 (107.2)
輸出 (ステープル・トウ・トップ)		26,209	88.1	90.7
需要計		34,237	88.1	97.9
在庫		10,571	125.4	112.6

(注)国内需要の( )内数値は輸入量